

【第2次健康もりやま21】プロジェクト1 受診率向上のための取組【令和4年度実績】

実施事業	動画広告啓発による健（検）診受診勧奨
概要	1 女性の健康に関する啓発動画を作成し、SNS（YouTube、Instagram）や市内コミュニティビジョン等を通じて配信。 2 健康に関する啓発と併せて、SNS等で市HPに誘導し受診のきっかけづくりを行う。
内容	令和4年度は既存の啓発に加え、若い年代において罹患率が増加傾向にある子宮頸がん・乳がんなどを中心とした健康啓発動画を作成し、SNSを主な情報源としている20歳代から40歳代の女性に向けてYouTube、Instagram等の広告を配信することで、自分自身の健康に関心を持ち、健（検）診受診等の行動変容を促す仕掛けづくりをする。 ■主なターゲット 20歳代から40歳代までの守山市在住女性 （子宮頸がん・乳がん好発年齢） ■配信期間・回数 令和4年9月から10月まで（9月「がん征圧月間」） YouTube 7万回以上、Instagram 6千4百回以上 ■動画の仕様 フルサイズ版 30秒、ダイジェスト版 6秒。 SNSで広告として配信の場合、広告をクリックすると、市HP内の啓発ページにリンクする。
実績	1 表示数 YouTube 表示回数約16万回（目標達成率228.99%）、Instagram 表示回数約1万4千回（目標達成率223.6%） 2 広告掲出効果 ・YouTube、Instagramとも、目標表示回数の220%以上を達成し、ターゲット層への広告効果を果たした。 ・費用対効果：YouTube 204,213円（投資額：89,214円）、Instagram 14,844円（投資額：6,638円） ・広告クリック数：YouTube144回、Instagram94回 ・ホームページアクセス数：前年同時期比較3倍以上（令和3年9月約400回→令和4年9月約1,270回） 3 検診受診率：子宮頸がん検診23.2%、乳がん検診15.5%（11月末受診率） （令和3年度同時期受診率子宮頸がん23.0%、乳がん検診15.4%）
課題	・目標表示回数は220%以上の達成率、がん検診のホームページのアクセス数増加等の結果から、女性特有のがん検診を啓発することはできたが、健診受診率には直結していない。
令和5年度（予定）	・広告掲出効果が高かったYouTubeに絞り、動画広告を実施する。 ・新たにターゲットを絞った動画を作成し健診の啓発を行う。

【第2次健康もりやま21】プロジェクト2 運動を通じた健康づくりの取組【令和4年度実績】	
実施事業	運動を通じた健康づくりの取組
概要	1 BIWA-TEKU（スマートフォンアプリ）を通じた運動機会の提供 2 運動のきっかけづくりとなる環境づくり
内 容	1 BIWA-TEKU を通じた運動機会の提供 【概要】 運動をする時間がない、一緒にする人がいないなどの課題に対し、アプリにより気軽に身近に、いつでもスタンプラリーやバーチャルラリーを行うことができる、運動機会の提供を行う。 【運用開始】 令和4年1月 【アプリ内機能】 ●ポイントをとめる 総合健康相談、特定保健指導、栄養指導、推定野菜摂取量測定会、歩こう会、スポーツフェスティバルもりやま、体力測定 ●スタンプラリー ウォーキングマップを再編成し、新たなウォーキングマップを発行 2 運動のきっかけづくりとなる環境づくり (1) 市民歩こう会の実施（10/23：32人） (2) スポーツフェスティバルもりやまの開催（6/11、12：415人） (3) MORIYAMA NEW YEAR 駅伝大会（1/9：約950人） (4) ユニバーサルスポーツ事業の推進 等 (5) 出前講座の実施（ユニバーサルスポーツ、健康講座等） (6) 守山健康のび体操、守山百歳体操教室自主グループでの体力測定 等 (7) 自転車購入補助金：297台 (8) モリイチ・スタンプラリー（11/27：495人）
実績	BIWA-TEKU を通じた運動機会の提供 (1) 参加者数 1,363人（R4.6.7時点）→1,744人（R4.12.19現在）381人増加。 (2) ポイント取得数 守山市イベント参加者：93人 守山市設定スタンプラリー参加者：1,622人 (3) インセンティブ 市内協賛企業（令和3年度 6企業27賞品→14企業57賞品）
課題	BIWA-TEKU 参加者数の増加 BIWA-TEKU 参画から1年が経過し、参加者は倍以上に増加している（R3.11.30 871人→R4.12.19 1,744人）ものの、さらなる啓発が必要。
令和5年度（予定）	・アプリを充実し、参加者の増加を目指す（医療費抑制効果の表示、健康手帳機能の充実、健康イベントの掲載）。 ・市内各課と連携し、健康に関するイベントやウォーキングマップをBIWA-TEKUアプリ内で公開する。 ・参加したい、継続したいと思うインセンティブを提供できるよう、市内企業と連携を行う。

【第2次守山市食育推進計画】重点テーマ①男性・若年層へのアプローチ、③生活習慣病の発症対策【令和4年度実績】	
実施事業	推定野菜摂取量測定イベント
概要	30歳代から50歳代の働き盛り世代、健康無関心層などを対象に休日のショッピングセンターで野菜摂取の促進および健康相談を実施し、行動変容を促す仕掛けづくりをする。特に、令和4年度は、30歳代から50歳代の参加者をモニターとして募集し、推定野菜摂取量や実際の購買データを比較検証する。
内容	1 開催日：6月～12月の第1土曜日（午前、午後）：計14回＋平日3回（7月29日（午前、午後）、10月21日（午後）） 2 30歳代から50歳代までの守山市民をモニターとして平和堂が募集し、栄養指導を行い、複数回の参加を促すことで、推定野菜摂取量測定値や購買データを評価検証する。モニターには平和堂から参加賞進呈。
実績	1 参加者数 1,303人 内モニター数197人（令和3年度891人、前年比412人） （1）野菜購買数の変化 （2）イベントの効果 2 野菜摂取量測定値の向上 初回（6/4）5.6pt→最終回（12/3）6.1pt ※野菜摂取量は増加しているが、一日350g以上の野菜が摂取できていると推測される目安7.0ptには達していない。 3 男性・若年層へのアプローチ 男性参加者 353人（全体の27%）、20歳代から50歳代の参加者 532人（全体の40.8%） 4 庁内外の連携 【連携先】守山市健康推進員、滋賀県栄養士会、JAレーク滋賀、碧いびわ湖、ママパスポート、第一生命、商工観光課、地域包括支援センター、すこやか生活課歯科担当 7月29日イベントでは、こども向けイベント、歯周病リスクチェック、JAレーク滋賀からの野菜提供、環境啓発パネル展示等、庁内外連携したイベントとして展開。10月1日は商工観光課、地域包括支援センターとも連携。
課題	1 野菜摂取量について 市民アンケート調査の結果から、食育への関心は高まっている一方、1日に必要な野菜摂取量350g以下の人が9割以上であり、また、若い世代ほど350gを摂取している者が少ないことが分かった。特に男性が女性より摂取量が少なかった。野菜摂取および食育推進についてのターゲット層を絞ったアプローチが必要。

課 題 （続き）	2 推定野菜摂取量測定イベントについて イベント参加者へのアンケートでは、参加のきっかけは「野菜摂取量を知りたかったから」について「売場等で測定会の開催案内を見たから」が多く、「買い物のついで」の人にアプローチができています。また、若年層・働き盛り世代へのアプローチを継続的に実施するため、若年層が集まる場での健康イベントの実施が必要。
令和5年度 （予定）	・平和堂店舗でのイベントの継続実施。 ・保育園・幼稚園での懇談会等、若い世代が集まる場での推定野菜摂取イベントの開催の検討 ・庁内外と連携した健康イベントの実施。 ・食育 SAT システム・歯周病リスクチェック・ベジチェック®を用いた食育イベントを平和堂と協働開催（1回予定）